

▶ ノート PC のセキュリティが待ったなしの理由

ノート PC が盗まれると、企業の評判と収益の心臓部が大打撃を受ける可能性があります。企業データ（その大半は非常に機密性の高いデータ）を保存しているノート PC がどれほど多くあるのか、考えてみてください。

事実、そのデバイスが会社が支給したものであれ BYOD（私物デバイスの業務使用）であれ、社員は 1 人あたり平均 3 台のモバイル デバイスを持っています。¹

これでは、持ち運ばれるデバイスが多すぎて、セキュリティも大きく低下してしまいます。これらのデバイスに、保護されていない機密情報が格納されている場合は、危険な状況に陥ってしまうことがあります。しかも、すぐにです。

盗まれたノート PC からデータが漏洩する重大な事件は、規模にかかわらずどの企業にも起こり得ます。2014 年には、ある恨みを抱いていたコカコーラ社の社員が、地方の瓶詰め工場とアトランタ本社の 2 か所から 55 台を超えるノート PC を盗み出しました。窃盗犯は、暗号化されていない人事関連の情報数万件を一挙に入手したことになります。このレコードには 74,000 人分を超える社員と契約業者の個人情報が入っていました。² そのレコードには、18,000 件の社会保障番号や、さらに多くの住所、氏名、運転免許証番号など、大量の個人識別情報 (PII) が入っていたのです。ある社員は、PII が漏洩した人全員のために、コカコーラ社を相手取って集団訴訟を起こしました。



1 Forrester Research, Market Trends:Secure File Sharing and Collaboration In The Enterprise, Q1 2014

2 InfoSecurity, "74,000 Data Records Breached on Stolen Coca-Cola Laptops," 2014

2015年4月には、US Healthworksのある社員が、ノートPCを車内に置いたままにし、夜間に盗まれてしまいました。³ 損害は、一人だけにとどまりませんでした。ノートPCはパスワードで保護されていましたが、顧客の氏名、住所、生年月日、役職、社会保障番号などのPIIを保存していたにもかかわらず、データは暗号化されていませんでした。この企業は、社員に身元保護サービスの無料登録を1年間提供しました。これは同企業ができた最低限のことに過ぎませんでした。

悪者を完全に阻止する：モバイルデータを保護する¹

モバイルデバイスは、その性質上、紛失や盗難のリスクにさらされています。そのリスクを管理することがモバイルセキュリティの核となりますが、適切なツールなくしてそれはうまくいきません。悪者を完全に阻止する強力なセキュリティおよびデータ損失防止機能によって、モバイルデータを保護する方法についてご覧ください。

今すぐ読む



▶ 企業のセキュリティ保護

ユーザーデバイスの大多数は、深刻な危険にさらされることはありませんが、重大なデータ消失や漏洩のリスクはどのデバイスにもあります。エンドポイントデータを効果的に保護するために、相互に連携するきわめて重要な機能が6つあります。

- 1 アクセスを制限することで、データを偽のユーザー資格情報から保護することができます。コンピューターセキュリティの基本は、ユーザーパスワードです。エンドユーザーは、パスワードを手作業で生成し覚えるのが難しいと考えるため、ほとんどのアプリケーションとウェブサービスで同じ弱いパスワードを使い回すことがよくあります。セキュアなシングルサインオン(SSO)または二要素認証(2FA)により、モバイルデバイスに強力なアクセス制御のレイヤーを追加することができます。
- 2 ファイルレベルの暗号化により、デスクトップとノートPCでのデータ漏洩を防止することができます。注目を集めるデータ漏洩の多くはネットワーク攻撃ですが、その多くは盗まれたコンピューターから仕掛けられます。暗号化しておけば、ノートPCが盗まれても、そのデータは犯人の役に立たないと確信することができます。
- 3 位置追跡機能により、失われたノートPCの位置を国、都道府県、市町村、郵便番号レベルで絞り込むことができます。一部の位置追跡ソフトウェアは、番地レベルまで絞り込むこともできます。ノートPCがその場所から何キロメートルも離れている場合には、遠隔消去を開始することもできます。
- 4 遠隔消去により、ノートPCを紛失しても、大惨事よりもはるかに軽い「困ったこと」で済みます。完全または選択的消去により、ブロックがゼロで埋め尽くされるため、窃盗犯がデータリカバリツールを使っても役に立ちません。
- 5 ポリシー型の自動化により、IT部門はモバイルデバイスのセキュリティと保護を効率的に管理することができます。変更を行う必要が生じた場合、IT部門では管理ポリシーにのみ変更を行います。
- 6 HTTPSによるセキュアなデータ転送が、VPNのコスト増なしに、データの移動を保護します。組み込みSSL証明書と強力なデータ暗号化により、送信中のデータが保護されます。これは、暗号化によってデバイスのハードディスク上のデータが保護されるのと同じです。

▶ COMMVAULT エンドポイント データ保護

一般に、これらのセキュリティ要求を満たすには、複数のポイント製品が必要になります。Commvault エンドポイント データ保護ソリューションの登場により、企業情報がどこにあってもセキュアに保護できるようになりました。もしデバイスが紛失や盗難、データ漏洩の被害にあったとしても、貴社と貴社の顧客は、企業データのセキュリティは保たれると確信を持つことができます。

エンドポイント データ保護は、エンドポイント デバイスをセキュリティで保護するだけでなく、リモート データのバックアップとリストアを行い、コンプライアンスと e ディスカバリーを有効にし、セキュアなファイル共有を可能にします。また、ポリシーベースの管理とエンド ユーザーのセルフサービスにより、生産性を向上します。これらすべては、IT 部門のコントロール下でセキュアに運用されます。

- ファイルとフォルダの自動同期によって、どこからでも、どのデバイスからでもファイルにアクセスできます。デスクトップとノート PC 間でファイルとフォルダが即座に自動的に同期されることにより、すべてのファイルが最新、かつ、いつでも利用可能になり、セキュアなファイル共有による、スムーズなコラボレーションが実現します。
- Commvault エンドポイント データ保護ソフトウェアは、ポリシーによってセキュリティを管理します。ファイルとフォルダを暗号化して、ノート PC の紛失やデータ漏洩があったときでも不正アクセスを阻止し、ドライブ全体または保護データセットを遠隔消去する機能により、データが悪用されることはありません。IP アドレス監視と位置情報機能により、ノート PC が最後にサーバーにサインオンした位置をストリートレベルまで突き止めることができます。
- Active Directory とロール ベースのアクセス制御 (RBAC) に基づくシングル サインオンで、セキュアなユーザー アクセスを効率的に提供します。自動ディスカバリー機能は、Active Directory と連携して新しいクライアントを自動的に発見しエージェントのセットアップも自動的に行います。
- Commvault では、データを ContentStore で一元化し、統合コンプライアンスと e ディスカバリーを実現します。社員がどこにしようと、関係ありません。ContentStore とメール アーカイブ上でコンプライアンスと e ディスカバリーを実行し、訴訟ホールドを設定してください。

このように Commvault には幅広くエンドポイントを保護するための機能を有していますが、それだけにとどまりません。エンドポイント データ保護は、スタンドアロン ソリューションとして存在するだけでなく、Commvault ソフトウェア プラットフォームとシームレスに連携させて、包括的な企業保護、セキュリティ、ファイル共有、e ディスカバリー、分析を実現することもできます。

情報ワーカーの大半は、3 台以上のデバイスを使用しています。

FORRESTER RESEARCH,
*Market Trends:Secure File Sharing and
Collaboration In The Enterprise, Q1 2014*

▶ リソース

i <http://commvau.lt/1M1pSA0>

- ▶ Commvault® ソフトウェアでエンドポイントおよびモバイル デバイスを保護する方法の詳細については、commvault.com/solutions/endpoint-data-protection をご覧ください。

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「CV」のロゴ、Commvault Systems、Solving Forward、SIM、Singular Information Management、Simpana、Simpana OnePass、Commvault Galaxy、Unified Data Management、QiNetix、Quick Recovery、QR、CommNet、GridStor、Vault Tracker、InnerVault、QuickSnap、QSnap、Recovery Director、CommServe、CommCell、IntelliSnap、ROMS、Commvault Edge、および CommValue は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービス マークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVault 



▶ Commvault Systems Japan 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 8F

www.commvault.com | PHONE: 03-5747-9610 | jpsales@commvault.com

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved.